

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

ソバ打ち講習会



持田先生の説明に聞き入る受講生



自分達で作ったソバを試食中

曾於市観光特産開発センターと中谷地区むらづくり委員会は、12月27日に「ソバ打ち講習会」を財部町の中谷公民館で開催しました。中谷地区がソバの里づくりを行っていることから、地元の美味しいソバを食べて頂きたいこと、年越しの日が近づいてきたことからソバ作りの練習をして頂きたいことから講習会を開催しました。

講師は、観光ボランティアガイドの持田先生をメインに竹田さんと荒武さんで、悪戦苦闘している人にも優しく教えていました。受講生は、つなぎ無し100%のソバなのに、何故か千切れず、細く長いソバが出来たのにビックリしていました。また、ざるソバの試食をして、味・香りに満足していました。

曾於市吹奏楽フェスティバルを開催



12月18日、曾於市吹奏楽連盟主催の「第1回曾於市吹奏楽フェスティバル」が財部きらめきセンターで開催されました。

このフェスティバルは、市内吹奏楽団体の演奏向上と連携をはかるために行われたものです。

当日は、2月に開催される「九州小学校管楽器交歓演奏会」に鹿児島県代表として出演する末吉小始め、岩川小、財部小、末吉中、大隅中、財部中、末吉財部高校、岩川高校、メセナ楽団の9団体が参加。吹奏楽、金管アンサンブル、リコーダー演奏など日頃の練習の成果を発揮しました。

講師の長瀬義人先生は「このようなフェスティバルは、お互いの演奏を聴くことのできる大切な機会です。皆さん、いつまでも楽器にたずさわって下さい。」と講評の中で話されました。

ボーイスカウト・ガールスカウト 募金活動を実施



12月29日、ボーイスカウト曾於第6団・ガールスカウト鹿児島第6団が歳末助け合い募金活動を行いました。

この募金活動は、昭和44年から毎年行っている奉仕活動で、集めた募金は共同募金会とユニセフに寄付されます。当日はスカウト30人が曾於市内で募金を呼びかけました。

参加したスカウトからは、「寒い中だったけれど、たくさんの人に募金をいただき、とても嬉しかった」と満足した声が聞かれました。

ボーイスカウト・ガールスカウトでは、仲間を広く募集しています。活動内容は曾於第6団ブログ(<http://scout-bento.at.webry.info>)をご覧ください。

ロシナンテス 川原尚行さん講演



12月10日、末吉総合センター大ホールで「市P連の集い」が約600名の参加の中盛大に開催されました。

式では、「ジュニアコーラス」による合唱披露のあと市内4校のPTA活動報告、穂小学校佐野萌美さんによる「夢は世界にはばたく女優」と題した夢の主張がありました。

その後、スーダンを活動の拠点とし、ボランティア活動で活躍されていますNPO法人ロシナンテス理事長の川原尚行さんの「夢を追い続けて～ロシナンテスの活動～」と題した講演があり、東日本大震災やスーダンの貧困の状況報告や自分自身の生き方についての話をされ、会場からはどよめきや涙をぬぐう様子があちらこちらで見られ、人間の他人を思いやる気持ちや家族の絆の大事さを改めて実感するとともに素晴らしい講演になりました。

市民の生命と財産を守るために



曾於市の新春恒例の平成24年曾於市消防出初式が、1月8日、末吉栄楽運動公園で挙行されました。

当日は、澄みきった青空の中、全団員と消防車両27台が参列した市中パレードが行われました。

式典では、機敏で統率の取れた通常点検や小隊訓練を各方面隊代表の分団が披露した後、全分団による分列行進が行われました。

また、表彰状や感謝状の授与が行われ、曾於支部長表彰や市長表彰、市長感謝状などがそれぞれに贈呈されました。

戸島啓文団長は「市民の信頼と期待に応える為、さらなる消防技術の向上と消防精神に磨きをかけ、災害を最小限にいとめるよう、日々の訓練を重ねていきたい。」とあいさつされました。

式典終了後は、色鮮やかな一斉放水が行われ、訪れた観衆から歓声があがっていました。

自慢の野菜がずらり勢揃い



12月20日、末吉中央公民館で、末吉中部公民館主催の野菜品評会とバザーが開催されました。

この会は、昨年から開催するもので、地域の方々の農業への意欲を高揚させる事と地域の活性化を狙って開催されたものです。

当日は、畑や自家菜園で丹精を込め大切に育てられた自慢の野菜がずらりと並べられ、審査員の方々も優劣の判断がとて難しい様子でした。

主催者にお話を聞くと「昨年がとて好評で2回目の開催となりましたが今回は36人の出品者と95品の出品数で十分な成果を得ることができました。各館員の皆様と審査員の皆様のご支援ご協力に感謝します。来年以降も続けて開催したいと思っています。」とおっしゃっていました。

宝くじの助成金で弥五郎太鼓を補修



平成23年度コミュニティ助成事業により、弥五郎太鼓の6尺桶胴太鼓の革の張替を行いました。この事業は、地区公民館や組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることを目指すもので、財団法人自治総合センターが、活動に必要な設備の整備を支援しています。リニューアルした弥五郎太鼓の響きが地域を元気にし、今後の地域活性化に繋がることが期待されます。



消防団大隅方面隊 小学校へ寄附



平成23年9月11日(日)、第18回曾於市消防団大隅方面隊分団対抗親睦ゴルフ大会が、68名が参加して盛大に開催されました。

当日は、大会ルールにより、OB、バンカー、3パットなどは「罰金」が徴収されました。例年、この益金は、未来を担う子どもたちのために役立ててもらうために、大隅町内の小学校に寄付金として贈呈しており、11月14日、菅牟田、恒吉、大隅南の各小学校へ贈呈されました。

大隅南小学校では贈呈式に先立ち操法訓練を披露し、児童代表の岩下沙羅^{さあろ}さんから「ありがとうございました。消防団の皆さんはとてもかっこよかったです。これからも地域住民が安心して暮らせるよう頑張ってください。」とお礼の言葉を述べました。

津留辰矢さん 厚生労働大臣表彰



12月26日、大隅町岩川にお住まいの津留辰矢さんが厚生労働大臣からの表彰を受けたことの報告に市長室を訪問しました。

この表彰は、様々な分野で卓越した技能を持つ人を選び表彰する別名「現代の名工」と呼ばれているもので、県内では今年2名だけの受賞でした。

津留さんは、18歳から桶屋を営んでいた父親に弟子入りし、現在まで50年以上の永きに亘り焼酎用木樽を作り続けてこれらしました。ひところは注文が途絶える時期もありましたが、近年の焼酎ブームで美味しい焼酎を生み出す木樽の価値が見直され、現在では飛ぶように売れるようになったそうです。しかし、この技能を習得された津留さんでも一つを作りあげるのに約1ヶ月を要する、とても根気のいる作業だそうです。

現在、長男の安郎さんと2人でこの伝統技法を守り続けていらっしやいます。

財部南地区公民館主催で初の鬼火たき



1月7日(土)財部南地区公民館主催の鬼火たきが実施されました。これまでは各集落単位で鬼火たきを実施していましたが、子どもの減少、高齢化の影響で、ここ数年財部南地区では、鬼火たきをする集落がありませんでした。そこで、地域を盛り上げるためにも、地区公民館が中心となり、地区民の方々が健康で幸福な1年になることを願い、鬼火たきを開催することになりました。

鬼火たきの会場は、今年度で閉校する財部南中学校校庭で、校庭には小中学生、帰省中の方々、地区民総勢150名余りが集まりました。

寒い中、参加者それぞれ温かいぜんざいをいただきながら、燃えさかる炎を見て今年1年の誓いを立てた一日となりました。

きらめき笑顔で寒さを吹き飛ばせ！！



1月10日、財部中央公民館周辺の周回コースで健康づくり駅伝大会が開催されました。

この大会は、陸上競技の振興や心身ともにたくましい青少年の育成などを目的に毎年開催しているものです。

当日は、冷たい雨の降りしきる中、小学生・中高生・女子・一般の部の4部門に41チームが参加。中央公民館の周回コース、全8区間、11.4kmで健脚が競われ、沿道からは懸命に走る選手に盛んに声援が送られていました。

今回は、小学生の部で「財部J'S A」が、中高生の部で「末吉・南之郷野球部A」が、女子の部で「大隅中学校A」が、一般の部で「AKB35 オーバー」がそれぞれ優勝しました。その中でも「財部J'S A」は全区間大会新記録という快挙を達成してくれました。みんなのきらめいた笑顔がとても印象的な大会になりました。